

## 第4学年1組 学級活動学習指導案

日 時：令和6年11月18日（月）第3限  
 指導者：T1 教諭・渡邊めぐみ（外日角小学校）  
 T2 外部講師・岡島 英明（金沢医科大学病院）  
 場 所：4年1組教室

1 題材名 「がんについて正しく知ろう」  
 学級活動（2） ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

### 2 題材について

#### （1） 児童の実態について

本学級（男子15名、女子11名）の児童は、がんや喫煙の害に対する予備知識がほとんどない。「生活習慣についてのアンケート」では、全ての項目において望ましい回答をした児童は2割しかいなかったことから、生活習慣に何らかの課題があることが分かった。特に、「朝ごはんを食べていない」10%、「ゲームを一日に2時間以上している」70%など、食生活や放課後の過ごし方に問題があることがわかった。また、「朝すっきりと目覚めることができない」50%という睡眠に関する問題も明らかになり、これらが相互に関連していることも分かった。さらに、自分の生活習慣の乱れを理解していないことや自分の健康状態への関心が低い児童が多いことが課題として挙げられる。

#### （2） 題材設定の理由

がんは日本の死因第1位であり、生涯のうち2人に1人ががんにかかる時代になった。そのため、学齢期からがんに対する正しい知識を身に付けることが課題とされている。

そこで、がんについて正しい知識を身に付け、児童一人一人ががん予防の視点から、各自の生活習慣を見直し、日常生活での実践につなげられるのではないかと考え、本題材を設定した。がんの原因を知り、がんは予防できる病気であることを理解するとともに、がん予防のために、今の自分ができることを考え、よい生活習慣や家族への呼びかけを実践する意欲を高めることができるようにしたい。

また、がん教育を通して、食生活の改善や睡眠時間の確保など、望ましい生活習慣を確立させることで、心身ともに健康的な生活を送ることができるようにしたい。

### 3 第3学年及び第4学年の評価規準

観 点	よりよい生活を 築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
評 価 規 準	日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、よりよい生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	日常生活への自己の適応に関する諸課題に気づき、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、意欲的に課題解決に取り組み、他者と協力し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。

4 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
タブレットでがん教育に関するアンケートに回答する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの生活を振り返る時間を設け、課題への意識を高められるようにする。</li> <li>・がんの授業をすることを伝え、授業をするにあたって不安なことがあったら担任や養護教諭に伝えるように言う。</li> </ul>	◎健康に関する自己の生活を進んで振り返ろうとしている。 【主体的態度】〈アンケート〉

5 本時のねらい

がんについて知り、がんを予防するために自分のできることを考えることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

6 本時の展開

時間	学習内容と学習活動	教師の指導・支援	評価規準・方法
3	1 講師の紹介		
2	2 本時の学習について確認する ○「がん」と言えば、どんなイメージがあるかな。 ・手術をするよ。 ・たばこが原因だよ。	・事前アンケートを提示することで、問題意識を高める。	
30	3 がんの正しい知識について、理解を深める ○がんってどんな病気かな。どんな予防方法があるのかを知ろう。 <b>&lt;がんのことをもっと知ろう&gt;</b> ・医師の話聞く。(30分)  ・成人のがんと小児がんの違いが分かったよ。 ・欧米では、がんサバイバーがヒーロー扱いされているんだね。 ・小児がんの子供達は、手術などをして、大変な治療を頑張っているんだね。 ・検診の大切さが分かったよ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんの「知識」に関する講師の先生の話聞くことで、がんはどのような病気であるかを理解させる。(医師)</li> <li>・がんは、だれにでもなる可能性があること、健康な人の体にもがんができることもあることについて板書することでおさえる。</li> </ul>	
10	4 学習のまとめをする ○これからどのようなことに気をつけて生活していくか、自分にできることをワークシートに書いて考えましょう。 ・好き嫌いを減らして、バランスよく食べよう。 ・家族にがん検診をすすめるよ。 ・差別しないよ。 ・がんサバイバーがヒーロー扱われるような社会を作りたいな。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身や家族の生活習慣を振り返ることで、「予防」について課題意識をもたせる。</li> <li>・予防について、正しい生活習慣等の具体的な行動について考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんについて知り、がんを予防するために自分のできることを考えている。</li> </ul> <b>【思・判・表】</b> 〈観察・ワークシート〉

(3) 板書計画

<がんのことをもっと知ろう>

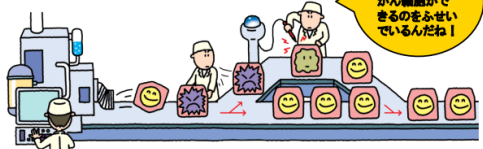
○がんとは？

- ・日本人の死亡原因の第1位
- ・日本人の2人に1人が一生のうちのがんになる。
- ・正しい細胞→正しくない細胞→増えて、かたまりになる→悪性のものをがんという。

**がんとはどんな病気？**

細胞の設計図のミスは、毎日からだのどこかで起きるたびに修理されています。でも、ミスが見のがされてしまうと、がん細胞になります。

修理屋さんが毎日ミスを直している



⊕ がんを予防するためには？

- ・食事はかたよらず、バランスよく
- ・運動不足にならないように
- ・飲酒はてきどに
- ・太りすぎない、やせすぎない
- ・がん検診を家族にすすめる。
- ・ワクチン接種を受ける。

7 事後の活動

児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
自分で立てた目標や取組について振り返る。	事後に振り返る機会を設定し、実践化に向けて継続した取組になるように助言する。	◎今後の健康的な生活の見通しをもち、自己の課題を改善しようとしている。 【主体的態度】〈観察〉